



# 緑の風



学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」  
 ～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

## もうすぐ夏休み！ どんなことを楽しみますか？ 鍛えますか？

髪型が「夏モード」になっていく子どもたちも多く見られ、プールも連日賑わいを見せています。早いもので、来週の土曜日からは夏休みです。これから、各学年や生徒指導部などから、さまざまなお願い等が届けられていきます。でも、基本的には、やっぱり「家庭の夏休み」にしてほしいと願っています。まずは、生活パターンをしっかりと決めて、自分のめあてに沿って学ぶことと、休みだからこそ味わえるゆとりを大切にしてほしいと思います。子どもと考える夏休みなんて、小学校の時だけです！明日のPTA懇談会でも詳しく情報交換をして、1か月に渡る特別な時間の子育てを楽しんでください。

### 「家庭の家庭学習」を見て・・・

7月からの家庭学習点検でしたが、先週は私が不在でしたので、昨日初めて全校の家庭学習(1年生を除く)を見せてもらいました。まず感じたのは、やはり、子どもによって「本気度」が違うなあということです。よかったこと(○)と課題(▲)は次のとおりです。

- ほとんどの子どもが、毎日やる習慣を身に付けている。
- 「家庭の家庭学習」として、親が関わる家庭が多くなってきている。
- しっかりと、「夢」につながる表紙ができている子どももいる。
- ▲高学年でも、ただドリル問題を解くだけにとどまっている子が多い。
- ▲「自分の言葉」による説明やまとめが不足している。
- ▲3行日記で、書く力、考える力、表現力が鍛えられていない。
- ▲表紙の「内容」が弱くて、「手引き」のルールが守られていない。

もっともっと、「自分のための自分の取組」であることを語ってあげてください。こまかさずに、やるべきことをやる心を育ててください。今がチャンスです。中学3年生になって「勉強してよっ」と言っても遅すぎますよ。本気で取り組みましょう！みんなで取り組みましょう。



## 114人の歯科教室



歯科衛生士の竹原康子さんが3日間に渡り、全校児童に歯磨きの指導してくれました。磨き残しが赤くなる試薬を使ったブラッシングの指導では、磨き方の善し悪しが鮮明に分かれました。「ええっ！」と思った子どもたちも多かったようです。私も45年前に体験しました。あのときの衝撃は今も覚えています。でも、時すでに遅し。隣の歯医者なのに、歯医者さんが怖くて虫歯だらけの小学生でした。そして、大人になってからは、麻酔を何本も打たれて、痛い痛い思いをして、たくさんのお金をかけています。でも、我が家の子どもたちは、母親の執念の仕上げ磨きのおかげで虫歯のない大人になっています。仕上げは、やはり親の愛です。小学生だからこそ、大切なことっていっぱいありますね。



